

平成 28 年秋期 システムアーキテクト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2016,12,16

10月16日(日)に行われた平成28年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、システムアーキテクト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■システムアーキテクト試験 (SA)

[平成28年秋期のシステムアーキテクト試験 統計情報]

応募者	8,157人
受験者	5,363人
合格者	748人
合格率	13.9%

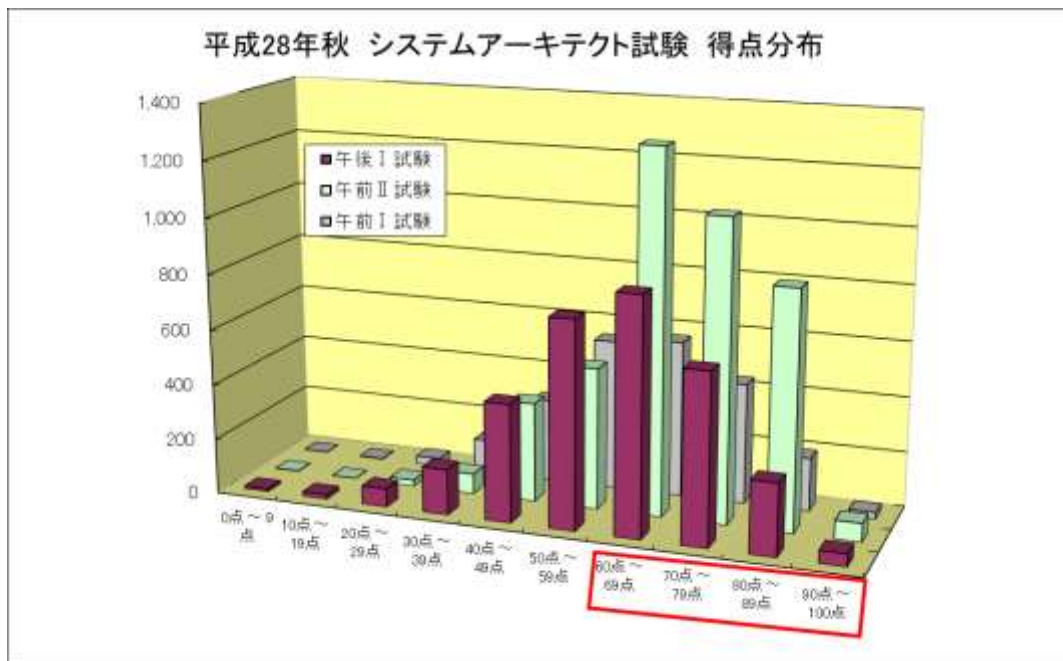
平成28年秋期のシステムアーキテクト試験の合格率は13.9%で前回の13.2%に対して少し上がりました。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成28年秋 システムアーキテクト試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	1	2	10	D 376	
10点～19点	2	1	17		
20点～29点	29	22	67	C 187	
30点～39点	121	73	165		
40点～49点	300	359	425	B 435	
50点～59点	543	509	743		
60点～69点	564	1,294	847	A 748	
70点～79点	435	1,074	612		
80点～89点	193	853	259		
90点～100点	24	67	46		
計	2,212	4,254	3,191		
対前試験比率		192.3%	75.0%	54.7%	42.8%
午前Ⅰ免除者(概数)	3,151	58.8%			

合格者数	748	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	1,216	55.0%	468
午前Ⅱ60点以上合計	3,288	77.3%	2,540
午後Ⅰ60点以上合計	1,764	55.3%	1,016
午後Ⅱ-A評価	748	42.8%	0



午前I試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で3,151人(58.8%)でした。

次に午前I試験で基準点(60点)以上の人は1,216人(受験者の55.0%)で、前回の60.5%に比べて5%ほど下がっています。

午前II試験で基準点以上の人は3,288人(受験者の77.3%)と前回61.4%と比べて15%近く上がっています。前回やや難しい問題が多かったですが、今回少なかったことが理由と思われます。

午後Iで基準点(60点)以上取れた人は55.3%で、前回試験の60.6%よりも5%強下がっています。3回連続で得点率が下がっており、やや難しくなっている傾向があります。

最後に午後IIの論述式試験で合格点(A評価)を取ることができた人は42.8%で、こちらは前回試験の44.7%から微減でした。

■平成28年秋期 システムアーキテクト試験 出題内容について

(午前I試験(高度試験の共通知識問題))

- ・高度試験に共通して出される問題30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれています。今回選ばれた問題内容は、計算問題が5問(前回2問)と増え、基礎理論の計算問題が例年どおり少し難しかったことから、全体に少し難しく感じられた受験者が多かったと思われます。

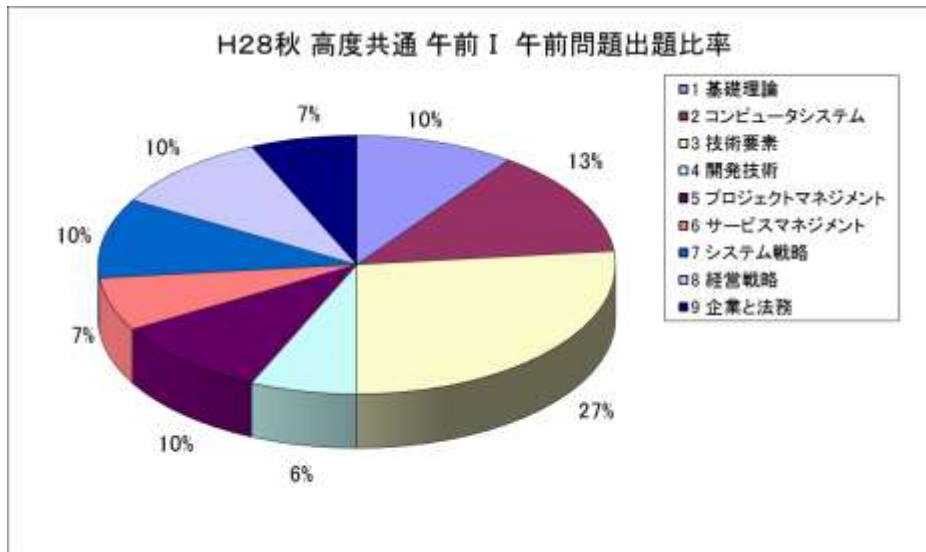
- ・過去問題の比率は約6割で従来どおりの比率です。
- ・分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で23ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容(中分類)からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ4問でした。
- ・新傾向問題は次の2問で、前回と同じ出題数ですが、それ以前よりも少なくなっています。なお、問9のインデックスの問題はやや難問題でした。

(新傾向問題)

問9 B+木インデックスのアクセス回数のオーダ

問18 PMBOKの統合変更管理プロセス

平成 28 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

午前 II 試験は前回からセキュリティも出題範囲に含まれることになりました。システムアーキテクト試験の重点出題分野はシステム開発技術、システム企画です。それぞれ、出題数は前回と大きく変わっていません。

新傾向問題としては、次の問題が挙げられます。やや難しい内容でした。

問 1 システム要求事項分析プロセスの成果

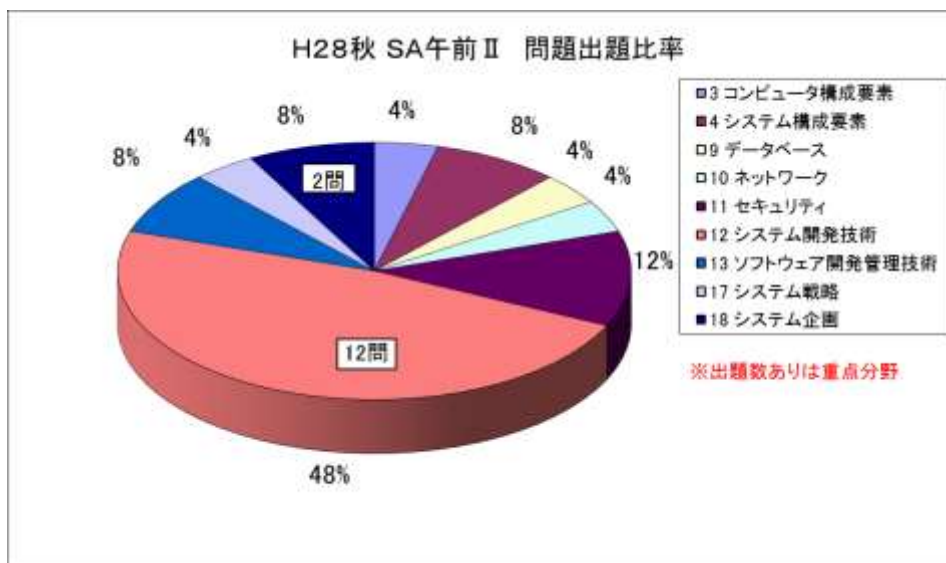
問 2 システム方式設計プロセスで文書化する項目

問 14 プライバシデザインの説明

問 20 グラフ形状から読み取れる製品の故障率

問 23 JIS Q 27014 (情報セキュリティガバナンス) における“モニタ”

平成 28 年秋期のシステムアーキテクト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。全体に前回よりも解答しやすい問題でした。

問1 仕入れ納品システムの変更(中堅コンビニエンスストア) 普通～やや難

現行業務、主要ファイル、商品の変更、定貫・不定貫商品、マスタのデータ変更、作業の変更要件、買掛金システムに渡すデータ、検品差異データの処理

問2 問合わせ管理システムの導入(産業用機械メーカ) やや易～普通

導入目的、業務概要、グループのIT戦略、新システムへの展望と要望、クラウドサービスの活用、登録画面の設計、問合わせ情報の権限(決定表)、利用リスク、ディレクトリサーバの連携、稼働後の改修

問3 売上・回収業務のシステムの改善(建材の卸販売会社) やや易～普通

業務とシステムの概要、改善要望、改善後のシステム内容、自動計上できるデータ、会計処理の勘定科目、返品処理、修正必要ないデータ、データの整合期間、売掛金の回収

問4 生活支援ロボットシステムの開発(システム開発・製造・販売会社) やや易～普通

新システムへの要望、開発目標、追加機能、新システムの構成、ロボットの各部機能、追加機能検討結果、遠隔操縦機能、電子はかりの処理、番号照合処理、片付け機能の内容、想定される問題

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。3問とも開発業務のオーソドックスなテーマでした。

新試験では各設問に字数制限付き、設問ア：800字以内、設問イ：800字～1,600字：設問ウ：600字～1,200字となっていますので、必ず字数を守って記述する必要があります。

問1 業務要件の優先順位付けについて

要件の概要(開発目的、業務)、要件の評価手順・項目と重付け、評価した要件と方法・優先順位

問2 情報システムの移行方法について

システム・業務概要、変更概要、業務特性による制約条件、移行方法、移行後の支障なくす工夫

問3 組込みシステムにおけるオープンソースソフトウェアの導入について

システム概要、OSS導入是非、関係部署との協議内容、他ソフトへの考慮、発生課題・判断妥当性

itec